

4 地区小体連のあゆみ

[1] 宮崎市小学校体育連盟

I 年間事業

実施日	曜	事業名	主 な 内 容	会 場
4月26日	金	常任理事会	第1回理事会内容検討	生目台東小学校
5月9日	木	第1回理事会	役員選出 事業計画	生目の杜遊古館
5月17日	金	学体研関係	地区実行委員会（会長・理事長・研究部長・授業者等）	
5月28日	火	常任理事会	泳力向上大会（仮名）検討 研究推進	生目台東小学校
6月7日	金	第2回理事会	泳力向上大会検討、学体研の役割分担と確認 研究推進（指導案検討等）	生目の杜遊古館
6月13日	木	学体研関係	研究部会、地区運営委員会（会長・理事長・研究部長・授業者等）	
6月20日	木	授業研究会	山下 克幸 教諭 授業研究・研究協議（体づくり運動・保健）	
7月11日	木	学体研関係	地区実行委員会（合同部会）（会長・理事長・研究部長・授業者、 運営に関わる班長 等）	
水泳指導期間中		水泳記録測定	泳力指導と泳力調査	各学校
8月2日	金	常任理事会	泳力調査集計 陸上競技大会検討・研究推進	生目台東小学校
8月9日	金	ステップアップセミナー（実技研）		生目台東小学校
8月22日	木	第3回理事会	フォークダンス研修 陸上競技大会検討・研究推進 学体研の役割分担、仕事内容確認	生目台東小学校
8月23日	金	学体研関係	研究部会、地区運営委員会（会長・理事長・研究部長・授業者等）	
10月8日	火	宮崎県学校体育研究発表大会事前研究会 小学校部会		生目台東小学校
10月17日	木	常任理事会	陸上競技大会プログラム編成 研究推進	生目台東小学校
10月21日	月	第4回理事会	陸上大会前々日準備（南部・北部）	県総合運動公園 生目の杜運動公園
10月23日	水	第54回宮崎市小学校陸上競技大会（南部・北部）		県総合運動公園 生目の杜運動公園
10月29日	火	宮崎県学校体育研究発表大会事前研究会 全体会（小学校・中学校・高校・特別支援学校）		宮崎市民体育館
11月13日	水	学体研関係	実行委員会、学体研前日準備	宮崎市民体育館
11月14日	木	宮崎県学校体育研究発表大会 宮崎・東諸県地区全体会		宮崎市民体育館
15日	金	小学校部会		生目台東小学校
1月24日	金	常任理事会	年間反省・次年度に向けて	生目台東小学校
2月14日	金	第5回理事会	年間事業報告・研究部反省 事業部反省・次年度の計画	宮崎市中央公民館

II 事業部のあゆみ

1 水泳競技の部

- (1) 大会名 第50回宮崎市小学校水泳大会
- (2) 実施期日 令和元年6月～7月（水泳指導期間中）
- (3) 会 場 宮崎市内各学校
- (4) 参加児童 宮崎市内各小学校5、6年生全児童（7889名）
- (5) 実施種目 ○25m（自由形、平泳ぎ）○50m（自由形、平泳ぎ）○泳力大賞
- (6) 実施方法 ○ 距離の部
 - ・ クロール、平泳ぎで25m、50mを泳げた児童の割合
 - ・ 5年の部、6年の部で割合上位の学校に泳力大賞を授与
- タイムの部
 - ・ エントリーは、1人につき1種目
 - ・ 25m（クロール、平泳ぎ）50m（クロール、平泳ぎ）でタイムの速い児童を各学校2名以内のタイムを提出し、集計する。

- ・ 上位10位までに賞状、上位3位までにメダルを授与する。
- ・ 参加児童全てに記録証を渡す。

(7) 反省

本年度は、各学校での水泳指導の中で泳力向上を目的に水泳大会を実施した。基本となる考えは「クロールと平泳ぎを25m・50m泳げる児童を増やす」である。そのためには、泳げない児童への指導が必要である。そこで、5・6年生を対象にして泳げた児童の割合を提出してもらい、割合の高い学校に「泳力大賞（賞状と盾）」を授与した。児童の励みになり、先生方の指導の向上にもつながっていくと考えている。また、泳げる児童については、ゆったりとした泳ぎその能力に応じてタイム計測を行った。水泳指導の単元の中で「個人に応じた課題学習」がある。そこで、泳げる児童は発展学習として「高めた泳力でタイム計測」を行った。自分のタイムを知ること、自分のフォーム等の課題を見付け、自己ベストタイムを目指していく方向で指導を行った。そして、2名以内の代表児童の25m（クロール、平泳ぎ）、50m（クロール、平泳ぎ）のタイムを各学校から提出し、集計を行い上位3位にはメダル、上位10位以内は賞状、提出された全児童に記録証を渡した。

本年度始めた大会の形式である。課題はあるが、長いスパンで宮崎市の児童の泳力を高めていきたい。そして、大会運営の課題をよりよくなる方向に考え、児童にとって意義深い大会になるようにしていきたい。

2 陸上競技の部

- (1) 大会名 第54回宮崎市小学校陸上競技大会
- (2) 実施期日 令和元年10月23日（水）
- (3) 会場 南部ブロック～KIRISHIMA 宮崎県総合運動公園 陸上競技場
北部ブロック～生目の杜運動公園 陸上競技場
- (4) 参加児童 宮崎市内小学校6年生（参加人数4025名）
- (5) 競技種目
- | | | |
|---------|-----------|------------|
| ◎一般参加種目 | 80m走 | 50mハードル走 |
| ◎選手参加種目 | 100m走 | 50mハードル走 |
| | 800m走（女子） | 1000m走（男子） |
| | 走り幅跳び | 走り高跳び |
| | ソフトボール投げ | 400mリレー |
- (6) 競技方法
- 選手種目については、タイムレースとする。
 - 児童の出場は、リレー（選手）を除き一人1種目とする。
 - 児童の服装は、体育服とし、スパイク使用は禁止とする。
 - 細部については、宮崎市小学校体育連盟による競技規則を適用する。
- (7) 日程
- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 開会式 | 9：10 | 競技開始 | 10：00 |
| 競技終了 | 14：10 | 閉会式終了 | 14：35 |
- (8) 表彰
- 選手種目市内上位10位までを入賞とし表彰する。
 - ブロックごとの上位10位までに賞状を渡す。
 - 陸上教室参加児童すべてに記録証または完走賞を渡す。

(9) 反省

本年度は、宮崎市の小学校を2つのブロックに分けて開催した。市内全小学校6年生と役員、保護者等でそれぞれのブロックで2000人を超え、合わせると4500人以上が集まる盛大な大会となった。選手の児童、一般走の児童どちらの児童も自分の持てる力を発揮しようとして一生懸命に自分の出場する種目に取り組んでいた。また、学校での学習がしっかり行なわれており、レベルの高い動きをしている児童が多くいた。さらに自分の記録がよくなって喜ぶ児童の姿や順位が上位に入って喜ぶ姿も見られた。応援は、自分たちの学校の応援はもちろんのこと、隣接する学校と共同で応援する学校もあり、盛り上がった。また、アメリカのメダリストであるDDトロッター選手がゲストで来られ、児童たちと一流選手との交流ができた。

本年度は、場所が2会場になったが、昨年度に引き続き、写真判定機の操作補助等、陸上連盟の方々に協力をいただき、スムーズな進行ができた。審判や判定の仕方等にも助言をもらい大変感謝している。今後もぜひ協力を要請したいと考えている。さらに、宮崎大学の学生にボランティアとして協力していただき、たいへん助かった。また、運営や児童管理を行う先生方が様々な観点から協力してもらい、大会進行を円滑に行うことができた。

市内全小学校の6年生を2つの会場に分かれての大会を開催する上で配慮すべきことはいろいろとあるが、子どもたちのために今後も実りある陸上競技大会にしていきたい。